

指定管理者評価シート(平成24年度)

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター ①所在地 さいたま市南区別所7-20-1 ②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置 ③施設の概要 【開館】平成25年1月 【構造】一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 平成25年1月4日～平成28年3月31日 ②指定管理料 平成24年度91,624千円(新設施設のため前年度なし)
(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 1月 10,659人 施設利用件数 941件(利用率62.2%) 2月 13,931人 施設利用件数 1,158件(利用率76.6%) 3月 16,720人 施設利用件数 1,269件(利用率75.8%) ◇業務実施状況 ・職員研修(期間中2回実施)により、駅前の公共複合施設という特性を全従業員に認知させ、業務を実施。 ・独自のホームページの開設・毎月発行の「コミュニティセンターだより」の発行によりさいたま市のコミュニティ活動等の中心拠点として情報を発信。 ・新規開設施設の為、利用者様からのご意見・ご要望を早い段階で業務に反映させる為、指定管理者内部の体制の強化、サウスピア内の南区役所、図書館、子育て支援センターとの連携体制の強化を図る為に指定管理者側では毎週の責任者会議、サウスピア施設内では毎月の連絡調整会議を実施し体制を強化。 ②維持管理業務の状況 ・定期的実施する設備定期点検・定期清掃に関しましては予定通り完了。 ・建築物・設備に関しましては小規模の不具合が発生しましたが、さいたま市、建設会社等と連携し、ほぼ完了。 ・施設警備に関しましては混乱が予想された為、当初の計画より3名の増員で実施。 ③その他(自主事業等) ・独自のホームページを開設。 ・自主事業は平成24年度は29講座を実施。多くの方に参加して頂く為、幅広いジャンルでバランスを考えて実施。また、どの事業も90%を超える参加率で、どの事業も次回の開催の要望が多くでした。 ・また、他施設との差別化を図り、元宝塚の講師を招いての事業など、独自のネットワークを生かした事業も実施。
(6)収支状況	①収入 ・指定管理料 91,624千円 ・文化事業収入 311千円 ・その他収入 147千円 ②支出 ・人件費 41,123千円 ・事務費 26,758千円 ・施設管理費 14,000千円 ・事業費 290千円

(7)その他	
--------	--

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
関係法令順守・個人情報保護	職員研修により関係法令遵守と個人情報保護を職員に徹底してまいりました。
自主事業実施と地域のコミュニティ活動の支援	幅広い分野の自主事業を開催してまいりました。またサークル設立の支援をして、実際に数多くのサークルが設立されました。
経費削減・省エネルギー推進によるコスト削減	サウスポア全体のエネルギー使用量を施設ごとにデータ化し、エネルギー管理をしてまいりました。また、電気につきましては時間外や使用してないスペースの消灯を徹底しております。平成25年度からはさらにデータを元に省エネルギー推進に努めてまいります。
利用者安全確保の取り組み等	平成24年度は警備員を当初の計画より3名増員して利用者の安全確保に努めました。消防計画・館内規則・危機管理マニュアルを整備し、随時必要に応じて更新しております。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

指定管理者の業務開始に伴い、職員の地元雇用を徹底してまいりました。また、維持管理等の委託業者につきましても、さいたま市内の業者を優先的に採用しました。

区役所を含む複合施設という特性から、利用者様からのご意見・要望は施設内での情報の共有化や、さいたま市への報告を綿密に行って業務にあたっていました。利用者対応に関しましては新規施設の為、細かい問題は多く、試行錯誤の繰り返しでしたが大きな問題も無く無事、平成24年度の運営を終える事ができました。平成24年度に頂いたご意見・ご要望に関しましては平成25年度の運営に反映させております。

武蔵浦和コミュニティセンター指定管理者として、特に力を入れたのは自主事業です。地元、大学や、NPOとの連携事業の実施や、文化・運動系サークルの設立・活動サポートを自主事業を通して支援してまいりました。

平成25年度以降は、より幅広いジャンルにて市民活動をサポートしていく事が課題となります。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民・スポーツ文化局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取り組み

- ・市民ニーズを積極的に施設運営に取入れ、市民サービスの向上に努めている。
- ・ホームページ、コミュニティセンターだより等を活用し施設の利用情報だけでなく地域の情報発信も行うことで、市民への情報発信の充実や施設の利用促進を図っている。

②経費の削減に関する取り組み

- ・照明の間引き、必要最小限の空調等、経費削減に努めている。

③適正な管理運営の確保に関する取り組み

- ・関係法令、仕様書を遵守した管理を実施している。継続して全職員対象に接遇研修を実施している。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。